

水抜き作業 手順について

2015年度 の支払実績

2015年度の支払実績からみる凍結・凍結漏水事故

凍結の多い都道府県

- 1位 北海道…247件
- 2位 岩手県…23件
- 3位 青森県…12件
- 4位 福島県・秋田県…5件



凍結被害の箇所



10万円を超える事故の割合



ポイント

凍結事故は
冬の天候に左右

ここ数年は暖冬の傾向が続いていることもあり、2014年度は414件、2015年度は321件と事故件数も減少しています。しかし、凍結事故は天候に左右されま
す。天気予報を確認し、冷え込む日は、裏面にある予防策を事前に講じましょう。

支払事例① トイレ配水管の解氷作業



凍ってしまったため、
あわてて水を流して
溶かそうとするが、
あふれ出てしまった

トイレの水が凍ってしまったため、
解氷作業を行った。

支払金額 約6万円

支払事例② 凍結による水道管破裂

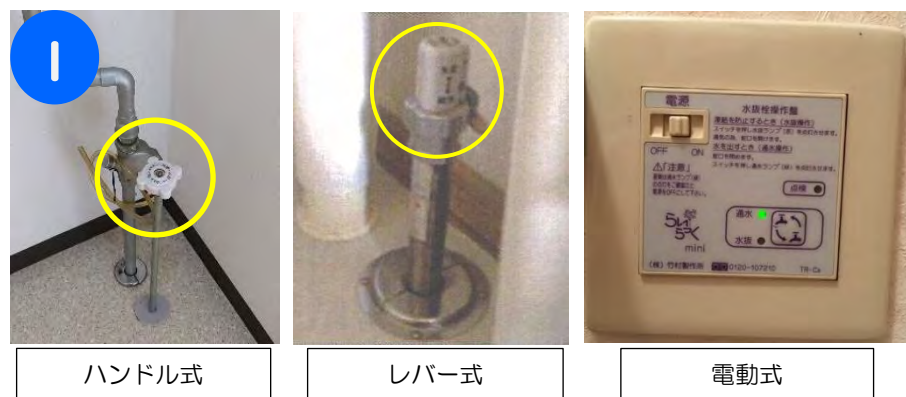


水道管の保温材に
まで達するほどの大
きな亀裂が……!

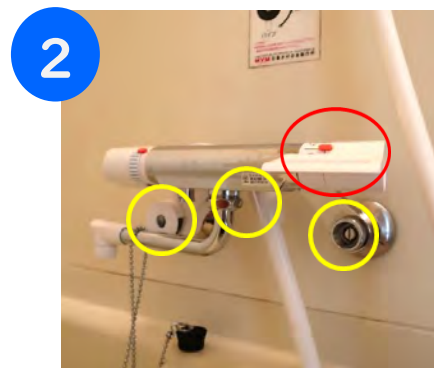
水抜きを怠り、長期にわたり不在にしてしまったため、
水道管が破裂。自室から、階下・車庫にわたって広範囲に漏水。

支払金額 約230万円

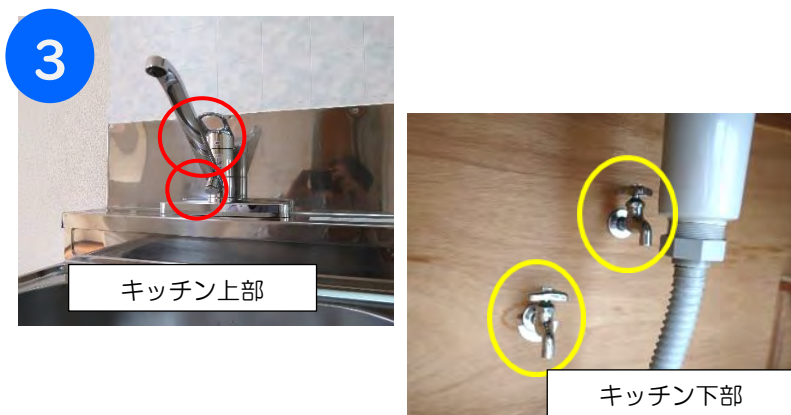
※使用されている機器類は、メーカー毎に形状や使用方法が異なる場合がございます。



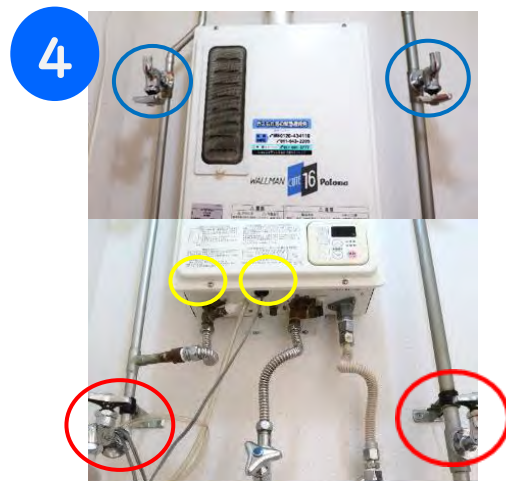
■止水栓（元栓）：ハンドル式・レバー式・電動式などがありますのでご確認ください。
 写真の【黄色○】内にあるハンドルを止水方向に回します。
 電動式の場合は、作業版に従い水抜ボタンを押してください。
 （※途中で止めると故障の原因になるので、止まるまで回してください）



■浴室
 シャワーホースを床に置きます。
 【赤色○】蛇口を開けます。
 【黄色○】水抜き栓（つまみ）を回して水を出します。



■キッチン廻り
 【赤色○】蛇口を開けます。
 【黄色○】キッチン下の棚を開け、蛇口を開けます。
 （水が流れ出てきますので、ボール・バケツ・洗面器等で受けてください）



■洗濯用蛇口
 【赤色○】洗濯用蛇口を開けて水を出します。
 【黄色○】水抜き栓（つまみ）を回して水を出します。
 （給湯器本体内部は、電源を入れておくとヒーターが作動しますので、電源はきらないで下さい。）
 【青色○】給湯器上にある水抜き栓（つまみ）を回し空気をいれます。



■シャンプードレッサー
 【赤色○】シャワー側のバルブを開き、水抜きをおこないます。
 混合栓を水とお湯の中間に置き固定します。
 【黄色○】シャンプードレッサーの下棚を開き、水抜き栓（つまみ）を回して水を抜きます。



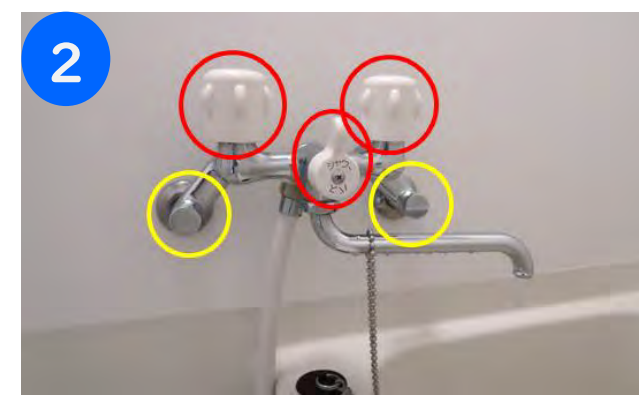
■トイレ
 【黄色○】タンク内の水が無くなるまでレバーを回します。
 （レバーを固定するロックボタンを押します）

○各項目共通
 全ての蛇口、水抜き栓を開けても完全に水が抜け切らない場合があるため、念のためホース等で瞬間湯沸器の水道管に空気を送り込んでください。
 また、通水する際は逆の手順で室内の**ハンドル・つまみ等が閉まっている事を必ず確認**してからゆっくりと止水栓を開けて下さい。

※使用されている機器類は、メーカー毎に形状や使用方法が異なる場合がございます。



■止水栓（元栓）は廊下にあるパイプシャフト内にあり、お部屋毎に分かれていますので自室専用であることを確認してください。
 ・手順1. 【黄色○】のcock（回転式のバルブタイプも存在します）をパイプに対して垂直にします。（水が止まります）
 ・手順2. 【赤色○】の水抜きバルブも垂直にし、水道管内に残った水を排出します。



■浴室
 シャワーホースを床に置き
 【赤色○】シャワーの方で水を抜きます。
 【黄色○】水抜き栓（つまみ）を回して水をだします。



■シャンプードレッサー
 【赤色○】シャワー側のバルブを開き水抜きをおこないます。
 混合栓を水とお湯の中間に置き固定します。
 【黄色○】シャンプードレッサーの下棚を開き、水抜き栓（つまみ）を回して水を抜きます。
 （水が流れ出てきますので、ボール・バケツ・洗面器で受けてください）



■キッチン
 【赤色○】シングルレバーを水・お湯の中心で固定します。
 【黄色○】水抜き栓（つまみ）を回して水を出します。



■洗濯機用蛇口
 【赤色○】洗濯用蛇口を開けて水を出します。
 【黄色○】水抜き栓（つまみ）を回して水を出します。
 ■給湯器
 【青色○】給湯器の下の水抜き栓（つまみ）を回し、水を出します。
 （給湯器本体内部は電源を入れておくと給湯器本体のみヒーターが入ります。）



■トイレ
 【黄色○】タンクの水が無くなるまでレバーを回し続けます。
 また、不凍液を投入（台所・浴室・シャンドレ・トイレ）するなどし、水が残っている箇所の部分的な凍結を回避しましょう。
 ※シャワー・トイレは、電源が入っていれば水抜きする必要はありませんが水抜きを行う場合は取扱説明書を見て行ってください。

○各項目共通
 全ての蛇口、水抜き栓を開けても完全に水が抜け切らない場合があるため、念のためホース等で瞬間湯沸器の水道管に空気を送り込んでください。
 また、通水する際は逆の手順で室内の**ハンドル・つまみ等が閉まっている事を必ず確認**してからゆっくりと止水栓を開けて下さい。